

令和6年度 図書館だより <第1号>

令和6年5月22日(水) 群馬県立太田フレックス高等学校図書室 発行

読書推進運動協議会・若い人に贈る 読書のすすめ 2024

新たな一歩を踏み出すフレッシュなあなたに

みずみずしい感性、好奇心、柔軟な思考、そうしたものを豊かに持ちあわせている<若いとき>に読書をするのは、これからの生き方に必ず大きな実りをもたらします。あなたが読書を日常のなにげない習慣にすれば、思いがけない幸せな「本との出会い」がきっとやってくるにちがいありません。(「読書推進運動協議会リーフレット」より)

読書推進運動協議会2024・若い人に贈る24冊を以下に紹介します。図書室の特設コーナーに展示していますので、ぜひ足を運んでください。

 <p>『ウクライナから来た少女 スラータ、16歳の日記』 スラータ・イヴァシコワ/文・絵 世界文化社</p> <p>「みなさん、明日は戦争になります」。もし、学校の先生から突然こう言われたら？これは夢が明日につながると信じた少女の等身大のサバイバル日記だ。</p>	 <p>『13歳からのサイエンス』 緑慎也/著 ナツメ社</p> <p>「これ、おもしろい！」が原点。発想力、思考力、行動力—すべては好奇心から生まれる。世界的な著名な研究者にも取材し、科学的に考える力の育み方を考える。</p>	 <p>『短歌のガチャポン』 穂村弘/著 小学館</p> <p>穂村弘が選ぶ短歌100首。楽しくて悲しくてヘンでおかしな短歌をファンタスティックな絵とともに詰め込んだ、ホームラ印のガチャポン・マシーンをお試しあれ!</p>
 <p>『NHK理想的本箱』 幅弘孝, NHK「理想的本箱」制作チーム/著 NHK出版</p> <p>悩み多き季節を生きる若者たちに贈る、本との幸福な出会い。著者のユニークでエッジの効いた選書と、愛情が詰まった作品解説が味わえる珠玉のブックガイド。</p>	 <p>『ポテトチップスと日本人』 稲田豊史/著 朝日新聞出版</p> <p>和洋折衷の完成形「のり塩」、洋食への憧れが育てた「コンソメパンチ」、団塊ジュニアを魅了した「ピザポテト」。ポテトチップスを軸に語る戦後食文化史×日本人論!</p>	 <p>『なぜ結果を出す人が勉強以前にやっていること』 チームドラゴン桜/著 東洋経済新報社</p> <p>覚えられない、続けられない、なぜか成績が上がらない…。悪いのはあなたの頭じゃない。「準備」です! 「勉強嫌い×苦手」でも必ず結果を出すノウハウ!</p>
 <p>『この夏の星を見る』 辻村深月/著 KADOKAWA</p> <p>2020年、コロナ禍による緊急事態宣言。全国の中高生は、リモートで繋がり、ある計画を立てる。コロナ禍でまなならない思いをしたすべての人に贈る感動作!</p>	 <p>『私たちの世代は』 瀬尾まいこ/著 文藝春秋</p> <p>未曾有の感染症の流行で不自由を余儀なくされたふたりの少女が、周囲の人々の力添えもあって成長していく姿を描く。いまを生きる私たちの道標となる物語の誕生!</p>	 <p>『雨にシュクラン』 こまつあやこ/著 講談社</p> <p>私、本当に影山高校の書道部員になれたんだ。桜の花びらの残る通学路に踏み出した。7月にはその道を歩かなくなるなんて、思ってもみなかった。</p>
 <p>『成瀬は天下を取りに行く』 宮島未奈/著 新潮社</p> <p>「島崎、わたしはこの夏を西武に捧げようと思う」。中2の夏休みの始まりに、幼馴染の成瀬がまた変なことを言い出した。話題沸騰、圧巻のデビュー作。</p>	 <p>『くもをさがす』 西加奈子/著 河出書房新社</p> <p>2021年コロナ禍の最中、滞在先のカナダで浸潤性乳がんを宣告された著者が、乳がん発覚から治療を終えるまでの約8ヶ月間を克明に描いたノンフィクション作品。</p>	 <p>『もしもし、アッコちゃん?』 東村アキコ/著 光文社</p> <p>子ども時代のやんちゃネタから、中学・高校での爆笑エピソードまで、昭和末期の人気漫画にまつわる著者の思い出を縦糸に、電話の進化を横糸に綴ります。</p>
 <p>『嫌な気持ちになったら、どうする?』 中村英代/著 筑摩書房</p> <p>ちょっとした不安から激しい怒りまで、気持ちがゆれることは誰にもある。でも、それに振り回されるのではなく、性質や特徴を知ってこの気持ちに対処しよう。</p>	 <p>『あの日、選ばれなかった君へ』 阿部広太郎/著 ダイヤモンド社</p> <p>受験に落ちた、就活に失敗した、失恋した、試合に出られなかった…。人生は「選ばれない」ことの連続かもしれない。でも、そこから新しい一歩が始まっている。</p>	 <p>『その気持ち、なんて言う?』 NHK「言葉にできない、そんな夜。」制作班/著 祥伝社</p> <p>日常のこぼれにできない瞬間を切り取って、小説家、ミュージシャン、俳優、お笑い芸人などが生み出した絶妙な表現をおさめました。NHK Eテレの番組を書籍化。</p>
 <p>『承認欲求 捨ててみた』 諸富祥彦/著 青春出版社</p> <p>かつて、ピクピク毎日を生きていた心理学者が教える、〈他人を恐れない、自由な心〉の手に入れ方。「9つのステップ」で、知らなかった世界へ飛び出せます!</p>	 <p>『東大8年生』 タカサカモト/著 徳間書店</p> <p>ネイマール選手、遠藤航選手とのエピソードも収録! 人生に迷った東大生が「世の中を放浪」しながら幸せの形を見つけていく自伝的痛快エッセイ。</p>	 <p>『夢の叶え方はひとつじゃない』 岡嶋かな多/著 PHP研究所</p> <p>BTS、NiziU など人気アーティストへ多数楽曲を提供し、中卒から人気作詞作曲家になった岡嶋かなだが、中学生に「あなたらしく夢を叶える」ヒントを伝授!</p>
 <p>『言語の本質』 今井つみみ, 秋田喜美/著 中央公論新社</p> <p>なぜヒトはことばを持つのか? 子どもはいかにしてことばを覚えるのか? 認知科学者と言語学者が力をあわせ、言語の誕生と進化の謎を紐解き、ヒトの根源に迫る。</p>	 <p>『あなたの日本語だいじょうぶ? SNS時代の言葉力』 金田一秀穂/著 暮しの手帖社</p> <p>巷の日本語は不思議でいっぱい! 常に新しいことばを「採集」し、検証しながら使っていく価値があります。Zoom、LINE、メール…。ネット社会のことばの伝え方。</p>	 <p>『伝わる言葉。失敗から学んだ言葉たち』 須江航/著 集英社</p> <p>仙台育英高校野球部 須江航監督。高校、大学、教員として今日にいたるまで数多くの敗戦、後悔、挫折を経験し、ついに獲得したコミュニケーション論。</p>
 <p>『ネット情報におぼれない学び方』 梅澤貴典/著 岩波書店</p> <p>ネットでの学びが広がり、膨大な情報をいかに使いこなすかが、今後のカギになってくる。情報の探し方や使い方、さらにはアウトプットの仕方をやさしくアドバイス。</p>	 <p>『18歳から100歳までの日本の未来を考える17のキーワード』 樋口裕一/著 Gakken</p> <p>ウクライナ情勢や、AIによる世の中の変化、「超高齢化」する日本の現状、これからの教育など…大人の常識として知っておきたい現代日本のトピックが1冊に!</p>	 <p>『ことばの白地図を歩く』 奈倉有里/著 創元社</p> <p>ロシア文学の研究者であり翻訳者である著者が、留学体験や文芸翻訳の実例をふまえながら、他言語に身をゆだねる魅力や迷いや醍醐味について語り届ける。</p>